

## 松本市「次世代交通政策」について

令和元年9月30日  
旧開智学校校舎  
国宝指定



松本市 交通安全・都市交通課  
都市交通担当 大塚 友宏

1

## 松本市の概要【岳都・学都・楽都】

信州・松本そば祭り（毎年10月開催）



セイジ・オザワ松本フェスティバル



- 人口 約24万3,000人（H27国勢調査）  
（県内第2位、商圏約58万人）
- 国宝松本城を中心とした城下町
- 標高3,000m級の峰々が連なる  
豊かな自然（北アルプス、上高地、乗鞍等）
- 大災害や戦災に合わず、昔のまちなみが  
残っており、道路が狭いところもある
- 目指すべき将来の都市像  
「健康寿命延伸都市・松本」
- 位置等 長野県の中央～西部  
面積 978.47km<sup>2</sup>（県内第1位）



2

## 長野県の交通結節地「松本」

県内外の交通結節地（長野・大町・東京・名古屋方面）  
鉄道、バスは「松本駅」を中心の交通形態

### ○路線バス

- ・アルピコ交通(株)(循環線、各路線)
- ・松本周遊バス「タウンズニーカー」
- ・市営バス（四賀線、奈川線）
- ・西部地域コミュニティバス
- ・四賀地域バス（デマンド運行）
- ・南部循環線
- ・地域バス

### ○鉄道

- ・JR線
- ・アルピコ交通上高地線

○民間交通事業者（JR、アルピコ交通）が鉄道・バスを運行

○パークアンドライド駐車場の利用は増加（平田駅など）



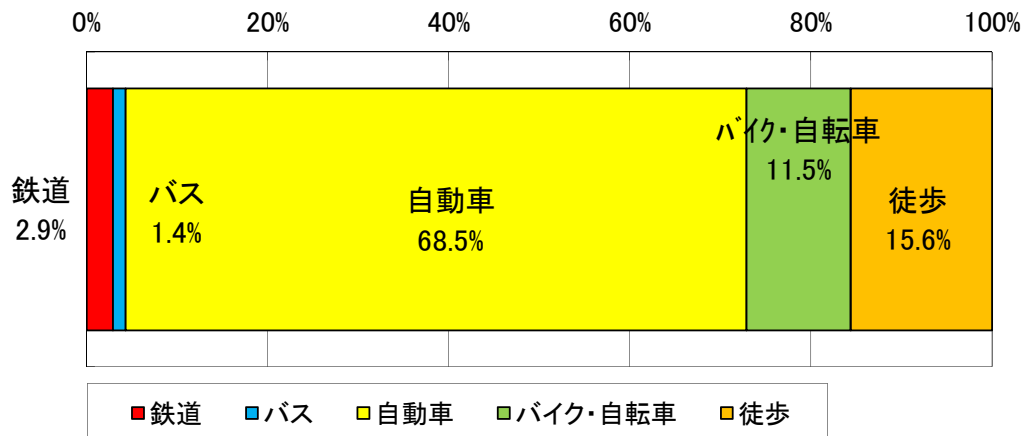
3

## 自動車への依存

代表交通手段（主な交通手段）

**自動車が68.5%、鉄道とバスの合計は、わずか4.3%**

松本市の代表交通手段構成比(H20)



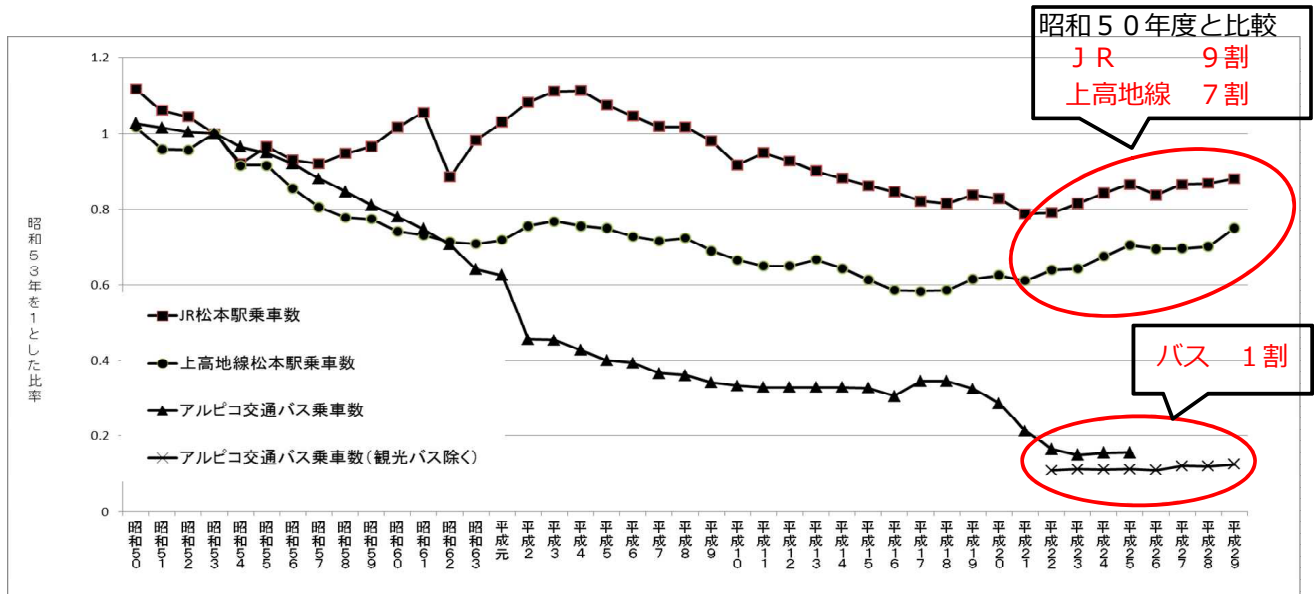
松本市役所本庁勤務職員は  
エコ通勤率80%

4

## 公共交通の利用者数変遷

### 昭和50年と平成29年（約40年間）の比較

- J R 松本駅乗車数 (21,064人 ⇒ 16,597人)
- 上高地線松本駅乗車数 ( 2,805人 ⇒ 2,071人) 長期的には減少傾向
- アルピコ路線バス乗車数 (58,403人 ⇒ 7,150人)



5

## 次世代交通政策

自動車優先の社会から転換し  
歩行者・自転車・公共交通を優先する  
まちづくり



エコで快適な移動により  
人が集い賑わう  
「交通のまちづくり」

70人が移動する際に使用する道路の面積や、排出されるCO<sub>2</sub>の違いを比べる写真を撮影しました。自動車より自転車・バスの使用面積の少なさが分かります。

自動車 54台	自転車 70台	バス 1台
駐車面積 97.2㎡	駐車面積 14.0㎡	駐車面積 5.4㎡
CO <sub>2</sub> 排出量 93.4kg	CO <sub>2</sub> 排出量 0.0kg	CO <sub>2</sub> 排出量 35.7kg

各々、70人が移動するのに必要な駐車・駐輪面積と10km移動する際のCO<sub>2</sub>排出量  
自動車54台(70台÷自動車平均乗車数1.3人)、自転車70台、路線バス1台  
(平成26年8月23日早朝、松本市伊勢町通りにて撮影)

6



# 松本市次世代交通政策実行計画①

## 基本理念1 「車を優先した社会」の転換

- 「まち」では、歩行者を第一に考える都市空間の利用
- 自動車で、どこでも行けることは確保するが、早さは重要としない。
- 限られた都市空間の中では共存、混合の受け入れ

## 基本理念2 歩行者・自転車・公共交通の優先

- まちの活性化に寄与する移動の優先
- 誰もが便利に使えるユニバーサルデザインの視点に立った公共交通サービスの充実（アクセス性、頻度、価格、バリアフリー、情報提供）
- さまざまな交通手段の自由な選択

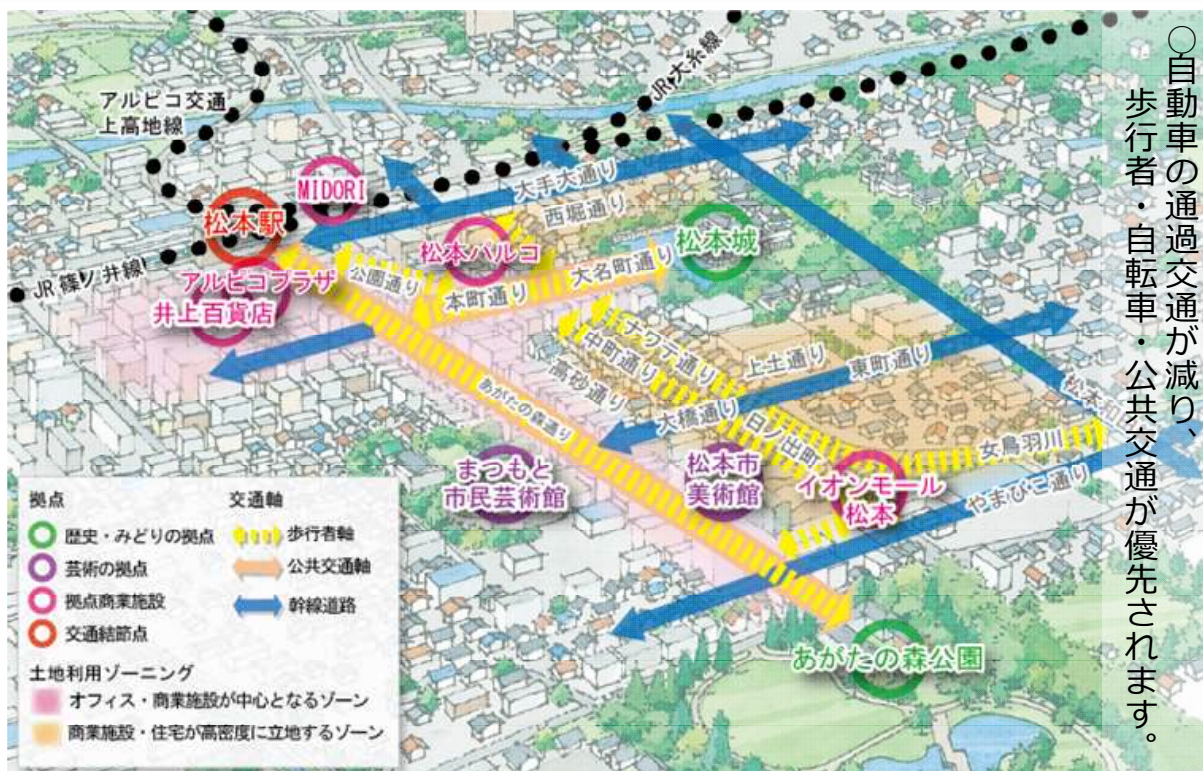
## 基本理念3 エコで快適な移動により、人が集う「交通のまちづくり」

- 環境にやさしく、経済的な移動方法の実現
- 自動車通行量の減少と速度を落とすことによる交通安全
- 人々の理解と協力のもとに進める、環境と人にやさしい移動のあり方

7

美しく生きる。  
健康寿命延伸都市・松本

## 将来イメージ（中心市街地）



8



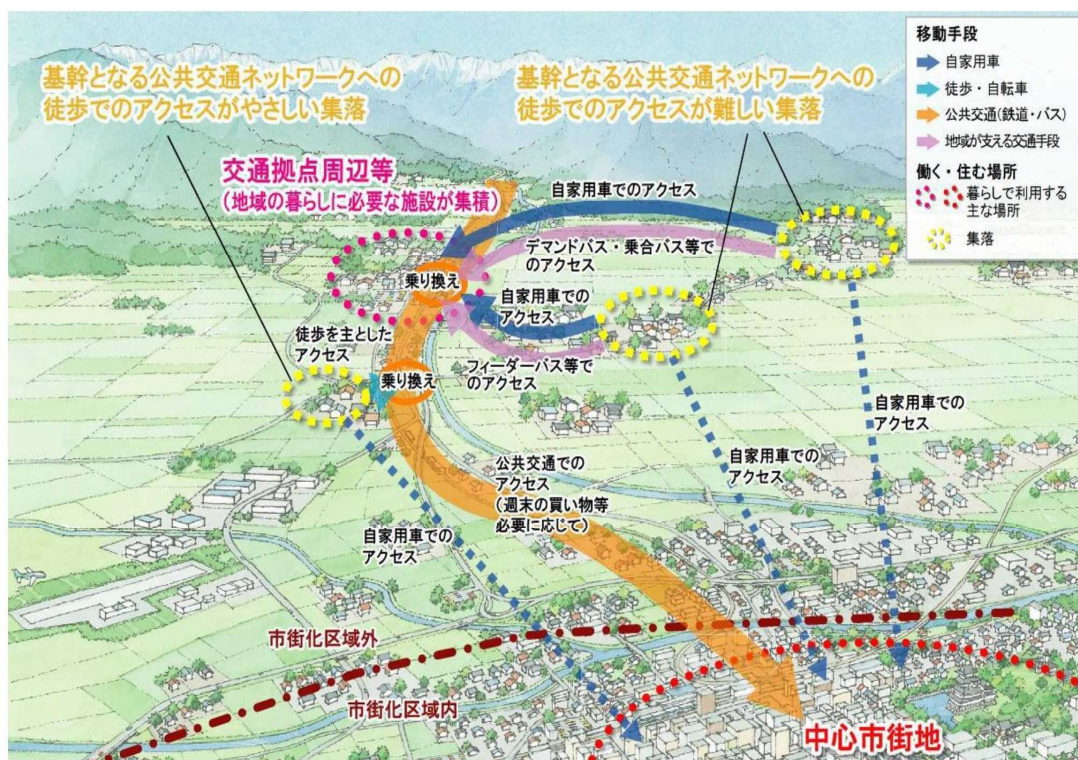
## 将来イメージ（中心市街地の「歩行者軸」）

- 自動車の通過交通が減り、歩行者・自転車・公共交通が優先となります。
- 多様な人たちが集まり、行き交い、賑わいます。
- 松本固有の歴史・文化・芸術・風景を共有し、資源を後世に継承します。



9

## 将来イメージ（郊外）



10

## 次世代交通政策実行計画の施策①

### 施策の展開

施策STEP① 短期（平成28～32年度）に着手する重点施策  
【おおむね着手済み】

- |           |                   |              |
|-----------|-------------------|--------------|
| ○道路の機能別配置 | ○バスの運行本数増加        | ○電子切符        |
| ○市街地ゾーン30 | ○バスの運行時間延長        | ○LRTの研究      |
| ○郊外ゾーン30  | ○ユニバーサルデザイン化      | ○モビリティマネジメント |
| ○自転車通行空間  | ○PTPS（公共車両優先システム） | ○条例の制定       |
| ○駐輪場の配置   | ○バスロケーションシステム     | ○都市計画道路の見直し  |
| ○バス路線の充実  | ○パークアンドライド        |              |



#### 効果①

- 歩行者・自転車空間の創出  
（道路空間の再分配）
- 公共交通の利用しやすい環境づくり  
（公共交通利用者の増加・道路空間内の車両の減少）

11

## 次世代交通政策実行計画の施策②

施策STEP② 中期（平成28～令和7年度）に着手する重点施策

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| ○道路の機能別配置           | ○バス優先レーン |
| ○中心市街地における車両の通過交通抑制 | ○バス専用レーン |
| ○バスのゾーン料金の導入        |          |



#### 効果②

- 歩行者、自転車中心のまち
- 公共交通の利用増
- 自動車通過交通の抑制

施策STEP③ 長期（令和8年度以降）に取り組む重点施策

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| ・ LRT（次世代型路面電車システム） | ・ BRT（バス高速輸送システム） |
|---------------------|-------------------|





## 松本周遊バス「タウンズニーカー」②

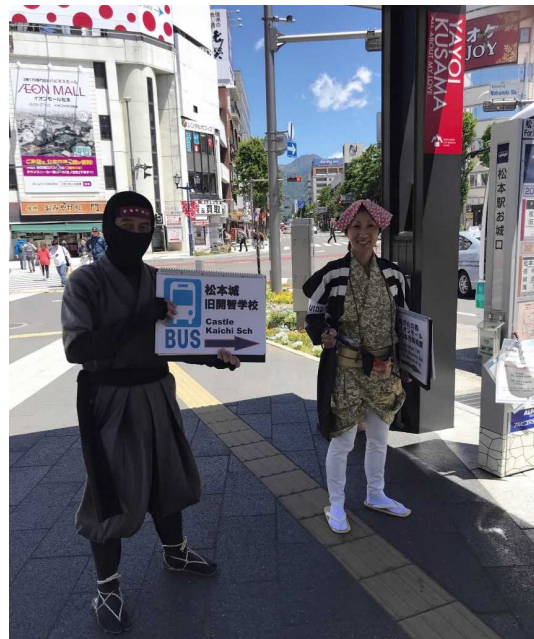
- 平成29年7月まで
  - ・運行間隔（60分間隔）
  - ・4コース計 35便/日



- 平成29年8月から松本市が実施主体
  - ・運行間隔（20～30分間隔）
  - ・4コース計 104便/日（3倍）



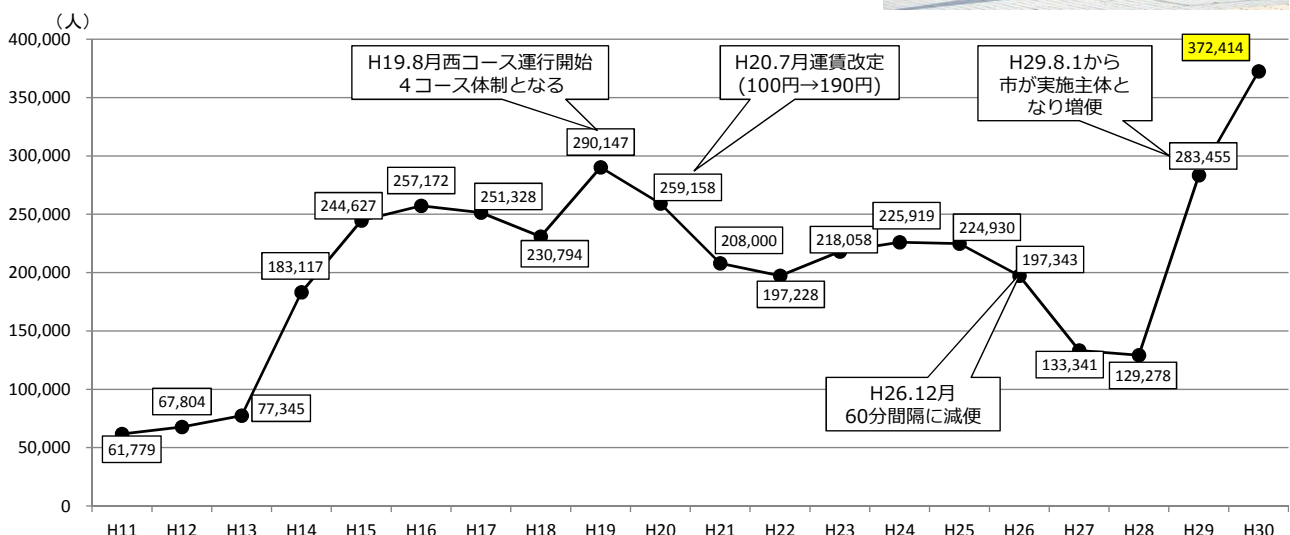
松本市購入の車両



忍者や瓦版売りに扮した案内人が、松本駅でタウンズニーカーなどの案内

## 松本周遊バス「タウンズニーカー」③

- 平成29年8月からの運行ルートの見直し・増便により、利用者は増便前より約2.9倍に増加
- 収入と支出の差額（赤字額）を市がアルピコに負担金として支払
- H30年度負担金決算額 73,500千円





## 西部地域コミュニティバス①

- 交通空白地域を解消するため、松本市が主体となり運行している
- A線～E線の5路線
- 収入と支出の差額（赤字額）を市が事業者に支払
- 平成30年度市支払額（決算額） 58,700千円



### 運行路線・運行事業者

- A線（島内・新村線） アルピコタクシー(株)
- B線（南松本・新村線） アルピコタクシー(株)
- C線（梓川・波田線） アルピコタクシー(株)
- D線（村井・波田線） アルピコタクシー(株)・平成交通(有)
- E線（平田・波田線） アルピコタクシー(株)

鉄道駅と病院・大型小売店を結ぶ路線

## 西部地域コミュニティバス②

### 年度別利用者数及び1便当り利用者数

ルート名	島内・新村線 A線	新村・平田線 B線	梓川・波田線 C線	今井・村井線 D線	平田・波田線 E線	計	
H25.10～ 運行便数	13便/日 土曜日10便	18便/日 土曜日運休	15便/日 土曜日8便	23便/日 土曜日15便	8便/日 土曜日8便	77便/日 土曜日41便	
利用者数 (人)	21年	3,567	2,780	2,256	2,698	-	11,301
	22年	6,685	6,368	4,872	8,828	-	26,753
	23年	7,053	8,396	3,055	14,334	4,338	37,176
	24年	8,079	7,395	15,460	18,828	5,049	54,811
	25年	8,069	8,592	17,763	21,001	3,554	58,979
	26年	9,104	9,824	18,617	25,079	4,494	67,118
	27年	10,060	8,509	22,128	25,457	4,810	70,964
	28年	9,721	7,789	22,012	26,626	4,359	70,507
	29年	9,333	8,089	18,269	26,906	5,188	67,785
	30年	8,920	8,263	15,651	24,606	5,533	62,973
1便当り 利用者数 (人/便)	21年	0.92	0.81	0.84	0.87	-	0.86
	22年	1.18	0.97	1.12	1.64	-	1.23
	23年	1.55	1.34	0.98	2.22	2.15	1.65
	24年	1.97	1.40	5.11(1.29)	2.86	1.77	2.62(1.86)
	25年	2.16	1.88	4.45(1.98)	3.36	1.54	2.83(2.35)
	26年	2.48	2.22	4.57(2.15)	3.93	1.91	3.21(2.74)
	27年	2.72	1.93	5.42(2.35)	3.98	2.03	3.39(2.79)
	28年	2.65	1.77	5.41(2.46)	4.18	1.85	3.38(2.80)
	29年	2.54	1.84	4.50(2.50)	4.23	2.21	3.25(2.86)
	30年	2.42	1.87	3.83(2.25)	3.85	2.34	3.01(2.70)

松本市地域公共交通網形成計画における1便当たりの  
目標乗車人数 「2人」





## 地域主導型公共交通③

### 三才山線の代替路線「ほしみ線」

平成28年11月1日(火)  
7時運行開始



○洞、稲倉、三才山の頭文字で「ほしみ」  
「きれいな星を見る」にもつながる  
○キャラクター「ほしみちゃん」や路線図  
など、ほとんどを協議会役員で作成



<利 用 料>  
(大人)  
一乗車300円  
(小学生、福祉100円バス助成事業対象者)  
一乗車100円

▲ ほしみ線  
1周年記念



## 地域主導型公共交通④

### 地域主導型公共交通（地域バス）の利用状況

路線名	利用者数			1便当たりの利用者数			運行開始
	H28	H29	H30	H28	H29	H30	
波田循環バス	1,685	2,151	1,860	4.0	4.2	3.6	H28.4.1
ほしみ線	2,771	7,314	8,223	3.9	4.3	4.2	H28.11.1
中山線	2,000	8,795	9,689	4.5	4.7	5.1	H29.1.10
入山辺線	—	10,455	10,269	—	4.8	4.7	H29.4.3
浅間・大村線	—	—	1,366	—	—	1.4	H30.10.1

## パークアンドライド推進事業①



23

## パークアンドライド推進事業②

- 平田駅パークアンドライド
- 平成18年 77台・無料の駐車場 供用開始
- 24年 有料化(200円/24H)
- 26年 133台に拡張
- 30年 利用率89.9%
- 整備費 約52,000千円 (用地購入費・工事請負費)



○利用率が高いため、拡張を検討

24



## パークアンドライド推進事業③

場所	規模	料金	開設	管理者
大庭駅	39台	200円/24時間	H29.11	松本市
新村駅	50台	無料	H13.4	松本市
森口駅	26台	無料	H24.3	アルピコ交通(株)
新島々駅	10台	無料	H23.10	松本市
平田駅	133台	200円/24時間	H19.3	松本市
神林	130台	300円/24時間	H14.4 →H22.4	松本市 →アルピコ交通(株)
梓川支所	8台	無料	H23.10	松本市
四賀支所	20台	無料	H22.10	松本市
四賀七嵐	8台	無料	H23.10	松本市
合計（9カ所）	424台			

25

## エコ通パーク

### エコ通パークとは

スーパーマーケット（デリシア惣社店）の駐車場を活用したパーク&ライド駐車場



### 料金

デリシア惣社店にて、3,000円（1カ月分）の商品券購入

26





## 時刻表の作成

市内公共交通の路線図、時刻表を掲載し、毎年発行  
地域住民、転入者、観光客等に配布  
(平成30年度は年2回発行)



(27年度)  
【ポケット版】

(28年度)  
【A5版】

(29年度)  
【A4版】

(30年度)  
【A5版】

29

## 地域の取組みによる利用促進事業

### 停留所環境整備 (ベンチの設置)

4地域(波田地区「きろろ」、新村地区「第2コムハウス」、島立地区「蛇原橋」、笹賀地区「空港東区」)



波田地区「きろろ」



新村地区「第2コムハウス」



島立地区「蛇原橋」



笹賀地区「空港東区」

### 地域の時刻表作成

1地域(安曇地区)

西部地域コミュニティバスC～E線の路線図と時刻、上高地線の時刻、中央本線特急の時刻を掲載

30

## バス（電車）の乗り方教室

小学校2・3年生を対象  
30年度実績10校725名  
(バス：8校496名 電車：2校229名)



31

## ノーマイカーデー推進事業

車に過度に依存しない社会について考える一日



- 毎年9月22日前後に実施
- 過去15回開催
- 主催  
松本市ノーマイカーデー推進市民会議（40の企業・団体で構成）

今年は5月26日（日）開催

- 5通り（大名町、中町、縄手、緑町、高砂通り）のノーマイカーエリア
- トランジットモール  
公共交通と歩行者が通行可能



32



## グリーンスローモビリティ

### 低速電動バスの運行



- 10月の「旧開智学校校舎国宝指定記念式典」と「信州松本そば祭り」に低速電動バスを運行
- 愛称「NTL」  
(National Treasure Line)

- 観光客をはじめ、市民の方にも高い評判
- 今後も継続的な運行を検討  
観光地、地域内循環バスなど



33

## 平日ノーマイカーデー

### 実施日等（平成30年に続き2回目）

実施日：令和元年11月18日（月）～22日（金）  
主 催：松本市、松本市ノーマイカーデー推進市民会議

### 取組み内容

- 朝と夕方の通勤・通学時間帯にバスを増便
- 「あがたの森通り」一部区間を午前7時から8時30分までバス優先レーン化
- 臨時のパークアンドライドを設置



### 平成30年の実施結果

- 事前のアンケート調査で、自家用車通勤者のうち約760人がノーマイカー通勤に取り組むと回答
- あがたの森通りは、車両交通量が約10%減少
- あがたの森通りの路線バスは定時性が確保された
- 路線バスの利用者は、運賃収入ベースで10%増加
- 臨時パークアンドライド駐車場の利用者は、想定より少なかった

34



## シェアサイクル事業①

民間事業者とのパートナーシップで、平成31年3月27日から開始



35

## シェアサイクル事業②

### 事業の概要

- 1 期間 2019年3月27日～2022年3月末（延長も可能）
- 2 規模 自転車130台以上・ステーション24施設（順次、拡大予定）

公募型プロポーザル方式により  
OpenStreet株式会社（ヤフー・ソフトバンクグループ）を選定

### シェアサイクルとは

決められた専用駐輪場（ステーション）であれば、24時間いつでも自転車を借りたり返したりできるサービス  
例えば、松本駅で借りて旧開智学校で返却可  
松本駅、松本城、市役所、病院、大型小売店などに設置

## シェアサイクル事業③

ステーションの位置は、アプリ  HELLO CYCLING から



**利用料金** 15分60円（24時間最大1,000円）

松本市役所本庁舎 ⇄ 松本駅お城口広場

約8分

⇄ イオンモール松本（晴庭・風庭）

約8分

37

## 歩行者中心のまちづくり

松本市を代表する観光地「中町通り」の歩行者空間化



実施日：6月・7月の日曜日2回

時間：11:00～16:00

トランジットモール化し、路線バスタウンズ  
ニーカーは通行できるようにした

アンケートで、歩行者の約90%、沿線関係者の約80%が「良い取組み」と回答



**【課題】**

- 継続的な取組みを目指す
- ・商店街関係者の合意形成
- ・看板設置・警備業務などの財源確保

38



ご清聴ありがとうございました